

目指す学校像

- 1 児童生徒と教職員の笑顔があふれる安全で安心な学校
- 2 児童生徒一人ひとりの可能性を高め、個性と人権を大切にす学校
- 3 児童生徒が主体的・協働的に授業に取り組み、自己実現できる学校
- 4 地域、保護者、関係機関等と教職員が連携・協働できる魅力ある学校
- 5 児童生徒も教職員もみんなが褒められる、認められる、活躍できる学校
- 6 児童生徒が思いやりや豊かな感性・情操を育むことのできる学校

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる力を育てる

自ら考えて生活する力  
ゆたかな心で協働する力  
たくましい体で活動する力

目指す教師像

- 1 豊かな人間性にあふれ、児童生徒・保護者に信頼される教師
- 2 児童生徒が主体的・対話的で深い学びができる状況や環境を常に考える教師
- 3 明るく積極的に行動力があり、社会の変化に対応した教育を考え実践できる教師
- 4 自己研鑽に励み専門性や指導力を高める教師
- 5 尋ね合い、確かめ合いができ、コミュニケーション力・協調性・表現力に優れる教師

学校経営の基本方針

今日の教育が、個人の明日をつくり、社会の未来をつくる

- 1 「信頼・協働」の連携を図り、和と信頼に基づく望ましい関係の強化を図る。
- 2 「実践的・主体的」な教師による授業の充実を図る。児童生徒一人ひとりが学校で学び活動する機会を確保し、個性や能力を伸ばすことができる学校をつくる。
- 3 「地域・関係機関等と連携・協働」を図る。児童生徒一人ひとりの可能性を高め、個性と人権を大切にす学校をつくる。
- 4 「児童生徒の主体的・協働的な学び」を推進し、児童生徒一人ひとりが学校で学び活動する機会を確保し、個性や能力を伸ばすことができる学校をつくる。

～教育方針～

- 1 児童生徒一人ひとりのニーズを的確に把握し、個別の教育支援計画や移行支援計画、個別の指導計画を活用し、切れ目のない一貫した指導や支援の充実を図る。
- 2 教職員一人ひとりが障がい者の人権について高い見識を持ち、共生社会の実現に貢献する。
- 3 特別支援教育のセンター的役割を担い、地域との連携・協働を図る。地域と連携・協働を図る。
- 4 各教員が教科等の指導において効果的にICTを活用するなどICT活用指導力の向上を図る。
- 5 学部間及び寄宿舎指導の系統性を重視し、将来の家庭生活や社会生活につながるキャリア教育の充実を図る。
- 6 学校間交流、居住地校交流など交流および共同学習を積極的に推進し、障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒の相互理解を促進するとともに、社会性や豊かな人間性を養う。

～経営方針～

- 1 教育公務員としての立場を自覚し、ふさわしい言動や身なりに留意し、服務規律を厳正に保持する。
- 2 児童生徒の人権を尊重し、発達段階や生活年齢に応じた「分かる・できる」力の育成、学舎連携による教育の推進を図る。
- 3 これまでの働き方を見直し、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう働き方改革を推進する。
- 4 児童生徒が現在及び将来に至るまで、地域で活動し、参加するための適切な支援や関係機関との連携を推進する。
- 5 保護者及び地域、関係機関への情報提供、相互連携を進め、説明責任を果たすことで信頼される学校づくりを推進する。
- 6 危機管理意識の向上、危険回避や予防的な対応、起こった際の対応等、危機管理体制を構築する。
- 7 スクールバス運行会社との連携による円滑かつ安全走行を徹底する。
- 8 学校予算、団体会計等の計画的、効果的な執行と適正な事務処理を実施する。

重点教育目標

児童生徒が見通しをもち、自ら主体的に行動する力を育てる

～指導の重点～

- 1 「個別の指導計画及び評価」に基づくユニバーサルデザインと合理的配慮の視点による「分かる・できる」授業の充実
- 2 小中高をとおして切れ目のない一貫した自立活動の指導内容充実
- 3 ICT等を活用し視覚的支援を図る教材開発、教室環境等の整備、授業実践の推進
- 4 「何がどのようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」などその明確化を図るとともに、各教科や合わせた指導、自立活動、特別の教科道徳の指導の充実
- 5 障がいの重度・重複、多様化に対応し、福祉・医療等の機関連携による効果的な指導の充実
- 6 地域社会とのふれあいや体験的活動、交流及び共同学習をとおした、児童生徒の豊かな心や人間関係の育成と、主体的・対話的で深い学びの実現
- 7 道徳、体育、食育など全ての教育活動をとおした児童生徒の健康や安心・安全に配慮した指導の充実
- 8 児童生徒一人ひとりの課題に応じたADL、QOLを高める寄宿舎指導の充実
- 9 児童生徒の行動の背景を理解し、エビデンスに基づいた行動支援を積極的に行うなどの指導法の改善・充実

～経営の重点～

- 1 保護者等との連携や教師間の協力による「個別の指導計画及び評価」の充実及び、コーディネーター等による組織的な校内支援の充実
- 2 ICT教育を推進するための校内体制の整備並びにICTを活用した授業やオンライン授業等の実践の蓄積
- 3 PTA活動の活性化と充実
- 4 公務員倫理の確立、服務規律の徹底
- 5 学校運営協議会を活用した地域・学校・家庭の教育力の向上
- 6 児童生徒数や実態の多様化に応じた、教室や舎室等の教育環境の整備と効果的な指導体制や指導形態の工夫
- 7 管理職も含めた時間外勤務の縮減と計画的な年休等の取得促進
- 8 地域の特別支援教育にかかわるニーズに基づいた具体的な支援
- 9 管理職主催の研修や事例交流をとおした指導技術の継承と向上
- 10 物理的構造化や視覚支援ツールを活用した教室環境づくりを行い、児童生徒が主体的に活動できる環境の整備
- 11 自ら進んで挨拶する心の醸成(教職員は児童・生徒のロールモデル)
- 12 狭隘化改善の推進